



森のなかま

2015年2月号

NO. 82 (継続227号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102



山の神祭 開かれる 平成27年1月18日(日)

昨年末の祠の大掃除



祠に向かいます



式次第

- 山の神祭式次第
- 一、開会の辞
 - 二、一同拝礼
 - 三、献饌の儀
 - 四、お払いの儀
 - 五、祝詞奏上
 - 六、玉串奉奠
 - 七、直会の儀
 - 八、一同拝礼
 - 九、閉会の辞

祝詞奏上(のりとそうじょう)をする武者氏



祭事終了後にも場所を変えて直会(なおらい)が続きます



< 森林文化部会 福島 正治 11期 >

平成27年1月18日(日)今年も恒例の山の神祭になりました。文化部会の一大行事の始まりです。当日は準備の為早くから集合し、しめ縄に紙垂(しで)を取り付け、玉串を作成し、供え物の設置、直会(なおらい)で使用する盃を冷たい水で洗い、スルメやめざしを焼くための炭火をおこし等等、行事を行うにあたり作業が続きます。昨年よりしめ縄作りから祠の大掃除と準備を整えたにも関わらず当日も大変でした。時間になり、参列の会員の方々が到着。祠の前で森林文化部会武者直氏の祝詞奏上(のりとそうじょう)後、久保理事長の玉串奉奠(たまぐしほうてん)、1期~13期それぞれの期の代表が玉串を供え一年の活動の安全を祈願しました。式次第に沿い祭事が無事終了。やどりき水源林休憩棟前で奉納されたお酒や縁起物のスルメやめざしをいただき会員間の交流を深めました。そして午後からの『会員の集い』に移っていきました。参加頂きました皆様のご協力に感謝いたしまして、報告とさせていただきます。

(山の神祭 参加者67名)



『会員の集い』開催される

＜ 事務局長 竹島 明 3期 ＞

今年も『会員の集い』が、山の神祭に引き続き午後に松田町「わたや」で総勢59名の参加を得て開催されました。トラストみどり財団の靱山様の参加も頂き、会員の集いに花を添えて頂きました。

森本理事の司会／進行のもと、久保理事長の開催挨拶、そして会員相互の親睦へ、2時間の楽しい時間は瞬間に過ぎていきました。

ご参加を頂きました会員の皆様ならびに準備に係って頂いた森林文化部会、事務局の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

『会員の集い』開催挨拶



会話がはずみます。もちろん酒も・料理も

“ 森林部会親睦会 ” 11月30日(日) 伊勢原市三ノ宮

＜ 森林部会 菊地昭子 1期 ＞

今年から新たに活動フィールドとなった伊勢原市三ノ宮で紹介も兼ねて森林部会親睦会を開催しました。伊勢原駅9時30分発栗原行きに乗車、バスで約30分保国寺下車、みかん畑を過ぎ、紅葉や十月桜を楽しみながら徒歩20分で現地に到着。佐藤森林部会長挨拶、足立氏の場所説明の後、午前中はハイキングコース脇の森林整備をしました。作業後は、とても綺麗になりました。

午後は、親睦を兼ねて自己紹介、森林部会の説明、質疑応答。口がよく回るようにと若干のアルコール、豚汁、珈琲を用意しました。お天気にも恵まれ、沢山の参加者、村井氏の日本酒、小野氏の野菜、の差し入れがあり、盛大に開催できより一層の親睦が深まりました。

ミカン



十月桜



道中



オリエンテーション



整備前



整備後



昼食・親睦



参加者： 足立④、佐藤⑤、滝澤⑤、相馬⑤、富樫⑥、伊藤⑦、有坂⑧、辻村⑨、内野⑨、飯澤⑨、大澤⑩、酒井⑩、松山⑩、松本⑪、石川⑫、西出⑫、宇田川⑬、北村⑬、焼尾⑬、古館⑬、江上⑬、斉藤⑬、菊地①

第4回ブラッシュアップ研修 “間伐研修(雨天のため講義のみ)”

(公財)トラストみどり財団主催 11月29日(土)9:00~14:00 参加者31名

受講者



< 真貝 勝 11期 >

当日は、あいにくの雨で 21 世紀の森の研修室に場所が変更になり、室内での講義のみの開催となった。21 世紀の森では丁度鮮やかな紅葉が見頃だった。受講者の中には、現地に行って間伐の実施を望む声も有ったが、研修室での講師の話と林業災害防止を狙いとした DVD 映像での座学が行われた。

以下、講師の方の話を要点のみ示しておく。普段聞けない厳しい林業の実態の話もあり有意義であった。

《講師の話のポイント》

・まず、最近では使われなくなった枝打ち機での実際の事故の話が紹介された。森林塾の研修で発生した事故の例。

・かかり木の処理の仕方として、フェーリングレバー等木回しの説明。かかり木の際、回転させる側のツルを一部切り、回すこと、木の下には絶対行かない、などが説明された。

・注意喚起では笛を吹いただけで満足してはだめ、吹いた後にちゃんと安全かどうか確認をする。

次に、安全な間伐の話の他に、実際の林業に携わる人の話が色々と聞けて非常に役に立った。

・神奈川県の木を切って出す、という仕事もあるが、実際には木は育っていない。虫が食っているという事があり、なかなか出せないのが現状で、急げば怪我や事故につながる。

・昔は山見の人がいたが、最近では入札になっているので一連の作業として続けてやれる制度となっていない。電子入札になってから、顔の見えないただやるだけの仕事となってしまっている。山への愛着が維持できない。

・また、林業に携わる人を増やすことは難しい。というのは、仕事に入ったついでのプラスアルファの仕事が出来なくなっている。次に手を入れる必要があるかどうかの山見(巡視)の仕事と実際にその作業を請け負うのは別の入札となるので、適切な時期に適切な管理がやり難くなっている。

・入札の制度の変更などが必要と思うが、それを変えてくれる良い政治家も出せなかった。林業関係者は神奈川県だけで400名ほどしかいないので、政治家も立てない。

・製材の費用は変わっていない。材料の価格は下がった。昔の1/3程度。今では林業関係者の収入は土建業より下のランクとなってしまった。若い人も残れない。

講師3名の話は引き込まれる様な話が多く、来年も多くの参加者の方と情報の共有化を行いたいと思う。



左から鶴田・渡邊・一寸木 各講師

ザックから次々とでてくる道具
一例のスリング

あざやかな紅葉

《講師の方々》小林造林:一寸木(ちよつき)様、善神産業:渡邊様、甲斐林業:鶴田様

(撮影 広報部 松本)



かながわ森インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

森のめぐみ シリーズ

第6回 多様な働きのある抽出成分

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

枠組は桜の小枝です

植物が自分の身を守るために作り出す抽出成分には様々な働きがあります。抗菌作用や抗害虫作用などはその代表的なものですが、このように抽出成分が他の生き物に対して何らかの作用を及ぼし、他の生き物の行動や生活に影響を与えるものは一般的に生物活性物質あるいは生理活性物質と呼ばれます。植物はそのような物質で多くの生き物が生活する生態系をコントロールしていると言っても過言ではないでしょう。植物が作り出すそのような生物活性物質をヒトは生活の中で上手に利用してきたのです。例えば害虫を忌避・殺虫する成分を含む草を燻して蚊を追い払ったり、成分を取り出して殺虫剤にしたりしてきました。

ここでは植物側に立った働きというよりもそれを利用するヒトの立場から見た植物の生物活性物質の主なものを表1に示してみました。ここに挙げたものは生物活性物質としての働きのあるもので、生物活性を持たないが利用されている抽出成分は数多くあります。例えば、マツヤニの幹に傷つけると滲出してくるマツヤニの成分ロジンはパルプから紙を作るときにインクのにじみ止めとして利用されますし、漆の木から採取されるウルシの液は漆器の塗料として重用されています。最近の自然回帰の世の中の動きのなかで、静かなブームを起こしているものの一つに草木染があります。それに使う植物色素も生物活性的な働きは無いものの昔から愛用されている抽出成分です。

さて、植物が作り出す主な生物活性についてご紹介しましょう。植物に対する作用としては植物の発芽・成長を促したり、阻害したりする作用があります。他の

植物の成長を抑えるような作用はアレロパシーと呼ばれます。この現象のよい例はセイタカアワダチソウです。セイタカアワダチソウが空き地などに一斉に繁殖するのは他の植物の発芽・成長を抑える物質を根から分泌しているからです。いや地現象は同じ場所に同じ作物を栽培するとしだいに収量が小さくなる現象ですが、この場合には土壌養分や土壌の物理性なども関わっていますが、作物の成分が関わっている場合もあります。

昆虫や動物に対しては葉や枝を食べさせないように摂食阻害物質、忌避物質、殺虫性物質などがありますが、逆に摂食刺激物質、誘引物質などもあります。

微生物に対する作用には抗菌・抗カビ物質があります。木材腐朽菌に抵抗性のある木材を家の柱や土台に使うといったことは樹木の生物活性をヒトが上手に利用している例です。薬としての薬理作用も植物の生物活性の働きのおこぼれをもらって利用しているよい例ですし、抗酸化剤としての利用もその例です。植物は光や熱、寒さなどの多くのストレスを身に受けて生育します。その時に身に付けるものの一つが酸化に抵抗性のある抗酸化物質です。近年よく普及してきた森林浴は森の雰囲気の中で快適な気分

アレロパシー作用のある
セイタカアワダチソウ



分にしてくれますが、これも木々などが大気中に発散する揮発性の抽出成分をヒトが利用しているものと言えるでしょう。

(イラスト 広報部 大塚 晴子)

表1 植物の主な生物活性

植物に対する作用	微生物に対する作用
植物の発芽・成長促進・阻害	抗菌・抗カビ物質
いや地現象関与物質	薬理作用
アレロパシー関与物質	漢方薬・民間薬
昆虫・動物に対する作用	医薬品
摂食阻害物質	酸化防止作用
摂食刺激物質	抗酸化物質(食品腐敗防止)
忌避物質	老化防止
誘引物質	快適性増進作用
殺虫物質	森林浴効果 など

活動短信

今回の掲載は平成26年11月8日～11月22日です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。予めご了承下さい。



山茶花 新嘗祭
立冬 初候 ～ 小雪 初候

◆ 県民参加の森林づくり 間伐

- 日 11月8日(土) 8:00～14:00、曇り
- 場 湯河原町鍛冶屋(町有林)
- 参 一般公募45名(大人44名、子供1名)
- 財 内海課長、鳥海様、 青木様
湯河原町: 窪井課長、 道具準備請負業者1名
- イ L松本①、鈴木③、三浦⑧、内野⑨、飯澤⑨、
宮下⑩、小笠原多加子⑩、大澤⑩、湯浅⑩、吉田⑩、
石川⑫、小笠原望⑫、山崎⑫、菌田⑬、溝田⑬、江上⑬
(研修生) 小清水⑤、田中⑬、古館⑬、松石⑬

本日の場所は神奈川の一番西の湯河原、湯河原梅林の上、幕山と対面の場所。

募集人員100名の募集に応募者73名も当日の天候不安定で参加者45名と激減してしまいました。それによりバスは5台だったので班毎にまとまって乗車できました。

当日の間伐ターゲットは33年生のヒノキの手ごわい経木。案の定、間伐した木は25本そのうち22本が掛かり木という状況でありましたが、その旨をインストラクター全員に3か月前から伝えてあったので、悪戦苦闘しながらもロープ、フェリングレバー、クサビ等をうまく使い事故もなく終了。さすがにこの日は綱引きが多く参加者の皆さんは体全体が疲れたようでしたが、かえって達成感がいつもより多かったと言って頂きました。帰りのバスは心地よさそう眠られた方が多かったです。

(記 松本 保 11期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 神奈川県森林組合連合会
協同組合体験・交流学級

- 日 11月8日(土)、曇り時々雨
- 場 やどりきBコース
- 参 16名(男性9名、女性6名、子供1名)

- スタッフ 県森連 常務理事 谷 様
- イ L増子③、赤崎⑫

雨の予報があり、天候が心配された活動であったが、曇り空の中、事故や怪我もなく活動を終了できた。森林、とりわけ樹木や林業についての講義をやどりきBコースをゆっくり歩きながら行った。参加者は実際の水源林の現状や、丹沢のかかえる問題について興味深く話を聞いていた。おりしもやどりきでは別のネットワーク活動で森林整備が行われていたため、講義の終わりにその様子を見ることができ、それがとても印象深かったようであった。私自身も、チーフリーダーの含蓄のある話をたくさん伺うことができ、勉強になった一日であった。

(記 赤崎 さほり 12期)

◆ かわさき市民アカデミー
やどりき水源林の森林 観察

- 日 11月10日(月) 10:00～12:15、晴れ
- 場 やどりき水源林の森林 Bコース
- 参 大人92名
- イ L阿部⑧、島岡③、白畑⑦

心配された雨や寒さもやわらぎ、秋晴れの散策には絶好の日よりとなった。

10時頃にバス2台で到着されたアカデミーの方々を迎え、広場でインストラクターの紹介・水源林の森林の全体概要説明、注意喚起及び簡単な準備体操後、3班に分れBコースの自然観察を実施。

机上で学ばれたことを、実際に現地で体験することが目的のようで、主に、人工林のスギとヒノキの違い、シカが増え食圧で下草の種類が限られていることなどを実感されたようだった。

沢沿いの狭い道を大勢で歩くので怪我がないことに注意を払って案内したが、幸い全員無事に戻ってこられ、秋の一日の観察会を楽しまれたようだった。

(記 阿部 純一 8期)

◆ 横浜市立すみれが丘小学校
森林の観察・森林の動植物

- 日 11月11日(火) 13:30～16:30、曇り
- 場 横浜自然観察の森(栄区上郷)
- 参 小学4年生70名、教師8名 計 78名
- イ L堀江④、谷川⑩、大原⑬、
菌田⑬、長尾⑬、真部⑬

天気予報に振り回された観察会でしたが、当日はどう

にか持ち直した曇り空に感謝しながら無事観察を終りました。今回は各班で子供たちの声を聴きましたので、その声を報告します。

1班、2班（担当インストラクター 堀江）

- ・自然を感じられたのと空気がおいしかった。
- ・植物の葉にはいろいろな葉脈があって、みるのが楽しかった。また 鋸歯と言うのを教えてもらい、いろいろな葉の違いが分かった。

3班、4班（担当インストラクター 谷川）

- ・学校にない植物のことを知ることが出来た。特につるが面白く、知らない自然が見られておもしろかった。

5班、6班（担当インストラクター 大原）

- ・水源としての森の大切さが分かったのと、自然は生き物にとっても大切などころだと分かった。

7班、8班（担当インストラクター 菌田）

- ・家の周りにある植物と同じもの違うものがあり、様々な植物と触れ合えたのがよかった。また家族と来たい。
 - ・葉の大きさ、形、厚さなどいろいろあり、虫もいろいろな種類が見られた。
- 似ているようで違う葉が多かったので参考になった。

9班、10班（担当インストラクター 長尾）

- ・いろいろな植物が増えていく過程が良くわかり、大変勉強になった。
- ・植物の種が運ばれたり、飛ばされたりして増えてゆくことがわかった。

11班、12班（担当インストラクター 真部）

- ・いろいろな葉っぱや木の実が多かったのしく歩けた。
- ・普段見られない松ぼっくりや、リスがかじった松ぼっくりも見られた。

（記 全体まとめ 堀江 清三郎 4期）

◆ 富士通エフ・アイ・ピー株式会社 間伐・自然観察

日 11月15日(土) 10時～13時、晴れ

場 ・富士通FIPの森(活動林)山北町世附
・丹沢湖 三保ダム周遊林道 中川橋～玄倉

参 ・30名(間伐体験26名、安全管理4名)
・12名(自然観察 社長ほか11名)

県 十鳥様、星様

<間伐体験>

イ L小沢⑨、斎藤⑥、伊藤⑦、西出⑫、
焼尾⑬、菌田⑬

抜けるような青空、綿帽子をかぶった富士山もくつきり

望める晴天に恵まれ、絶好間伐日和となりました。

自然観察のメンバーを含めた42名が間伐フィールドの前に集合し、浜野社長からの挨拶に続き神奈川県環境保全センター十鳥様、インストラクターの挨拶の後5班に分かれ作業開始。今回は、間伐の必要性・方法・安全作業など十分なレクチャーを希望されているとの事。写真や資料などで時間をかけて説明し、伐倒された木で鋸の使い方を指導する。この後、伐倒方向を充分に見定めし、受け口・追い口を交代で切りほぼ予定した方向に伐倒完了、枝打ち・玉切りし整理する。

間伐は初めての方が多く、かなり疲れた方もいましたが、全員無事に12:30に作業終了し下山する。

（記 菌田 栄哉 13期）

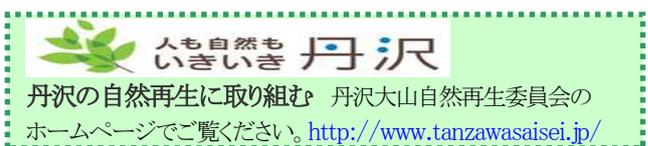
<自然観察>

イ L村井⑨、小川⑬

快晴に恵まれ、参加の皆様は足取り軽く中川橋を出発しました。当初は紅葉に目を引く楓が少なく少々不安気味でしたが、先頭を歩く村井インストラクターの蘊蓄のある動植物の解説、植物の種散布の話や、ミツマタと一万円札の話、アリのエアロゾム散布にうなずきながら聞き入っておられました。

目からウロコの話の時は、笑顔がこぼれていて和気藹々と歩き、暖かな日差しと爽やかな風の心地よい林道を進むと、目にも鮮やかな紅葉が雪をかぶった富士山を背景に皆さんご持参のカメラに納めておられました。いつもは室内での仕事が多く、本当に久しぶりに心身共にリラックスができましたと言っておられた言葉が印象に残っています。途中で全員の記念写真を撮られたり、約2時間ほどの自然観察も予定時間通りに進み、皆さんの満足げな笑顔で終わることができました。

（記 小川 和恵 13期）



◆ 横浜市立西富岡小学校 林業体験

日 11月21日(金)10:00～14:00、晴れ

場 21世紀の森 風切水源林

参 5年生及び教師 91名

財 古舘様

イ L. 小笠原⑩、白畑⑦、内野⑨、小沢⑨、村井⑨、

杉崎⑩ 藪田⑬、小川⑬

当初は10月初旬に実施されるはずだったが台風のために延期され行われませんでした。当日は晴天のため私達もホッとしました。

生徒さん達の「はじめの会」でインストラクターが紹介され班毎に枝打ち作業の準備を行いました。以前同校は間伐体験をしており、御兄弟から話を聞いて楽しみにしていた生徒さんもうらっしゃった。現場までは自然観察をしながら進みました。前夜の疲れが見られた生徒さんも林に入ると元気が回復されたようです。今回は2人で1本のヒノキの枝打ち作業となりました。最初はぎこちない動作でしたが、1本きり終わるころには2人で協力して上手に仕上げられるようになりました。心配していたハチには遭遇せず助かりました。作業後の山の様子を全員で確認後 21 の森の広場へ移動しました。昼食はインストラクターも担当班の生徒さんと一緒に頂き、その後林業や自然の話をしました。「終わりの会」で「また林業作業をやってみたい。」という言葉もあり、私達も嬉しかった1日でした。

(記 小笠原 多加子 10期)

◆ 富士通株式会社 神奈川支社 森林保全活動

日 11月22日(土)10:00~15:00、晴れ

場 県立21世紀の森

参 25名 (内 子供1名)

イ L山崎⑦、渡辺(孝)③、渡辺(敏)⑫

企業の森林活動5回目とのこと、和気あいあいのグループを予定時刻前に迎えた。挨拶と声出し元気体操の後、3班に分かれて現場へ。

鬱蒼とした細い竹藪状態を前にして、まず竹林整備の必要性、竹の種別・性質等の簡単な話をし、作業の仕方、安全上の注意を行い作業に移った。

黙々と進める慣れた人や、作業しながら質問をしてくる人など、其々のペースで楽しみながら汗をかけた様子。

定刻には思い思いに適当な材を選び抱えて戻る半日であった。これ以上はない晴天のもと、山の見事な紅葉に感嘆しながらの昼食は何よりのご褒美。

午後は見本を参考にしておしゃべりしながらの竹細工教室で、自作のコップ、一輪差などの完成に皆満足そうな様子。この間に、竹馬乗りに繰り返し繰り返し取り組んだ小学生が見事に乗りこなし、皆の祝福を受けていたことが印象的であった。

怪我のない日程を終え、自作のお土産を手にした笑顔のお帰りを見送った。

(記 渡辺 敏幸 12期)

◆ 県民参加の森林づくり 間伐

日 11月22日(土)8:30~14:30、快晴

場 相模原市緑区鳥屋(承継分収林)

参 73名

財 豊丸様、鳥海様 看 青木様

地元スタッフ 相模原市“まち・みどり公社”川南氏ほか1名

イ L大澤⑩、島岡③、稲辺⑤、富樫⑥、北村⑥、清水⑧、有坂⑧、鈴木敏⑧、阿部⑧、鈴木朗⑨、横田⑨、金森⑩、福島⑪、佐藤義⑪、石川⑫、前田⑬

研 大塚⑪、北村⑬、源島⑬、齋藤⑬

集落に続く比較的乾燥した東南向きの斜面。それがヒノキには適していたのか、35年生とはとても思えないほどの成長の良さ。10年くらい前までは、丁寧に手入れが続けられてきたことをうかがわせる立派な森林(やま)。殆どの立木は25cm~30cm。劣勢木も何本か残されてはいるものの、間伐対象木を選ぶのに悩む。

参加者の7割近くはリピーター、また、開講中のインストラクター養成講座(14期)の受講生も15名ほど参加。

最近の活動地に比べ傾斜は緩やか、かつ広い。が、2班・3班区においては、シノ竹が人の背丈よりも高く繁茂し、見通しが極めて悪い。チームごとの間隔を十二分に空けて作業を進めた。

5班14チーム、伐木本数20本と控え目な結果ではあったが、伐倒したヒノキの太さに充実感大きく、皆満足そうな表情だった。

(記 大澤 斗志郎 10期)

投稿概略フォーマットと略語の説明

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者

県 (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)

財 ((公財)かながわトラスTomidori財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合・XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ : インストラクター (○数字 : 期) 研 : 研修枠

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします

**やどりき水源林
ミニガイド**

1月のトピックス

この時期のやどりきは霜柱等が毎日できます。よく見るととても綺麗です。



(1/18 撮影 松本)

2月の水源林

月の前半は真冬、中旬からは春のきざしが見受けられます。

「森の案内人」情報

(12月、1月、2月は休止です。)

来春のお越しをお待ちしています。

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集 合: 水源林入口ゲート前
- 内 容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

**梅の宴
湯河原梅林(幕山公園)**

開催期間: 2月7日~3月15日



梅林から私達の活動場所の一角の菜畑林道も歩いてみましょう!!
(H25.12月号本誌2頁地図参照)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉 2-1-50

Tel: 090-6150-6173

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax: 046-825-9281

Mail: 2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまはHPで過去号もご覧になれます。

<http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★最近では冬芽が気になります。クズやオニグルミ・紫陽花・ニセアカシアなど、面白い顔に出会うと、ちょっと幸せな気分になれますね(▽)
(大塚)

★冬の探鳥会がとても楽しくて、勉強になりました。カモの観察が冬の楽しみになりそうです。
(赤崎)

★先日テレビで植物の「シモバシラ」のことを放映していました。私の住む八王子では、このところ毎朝足元に霜柱が立っています。今年は高尾山で氷の花のシモバシラを見たいと思っています。
(小川)

★周りわインフルエンザ、家ではロウウイルスに責められ、逃げ回っています
(水口)

★クロネコヤマトメール便が3月いっぱいまで無くなるのでその対応に頭が痛いです。
(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。郵便振替口座 00230-0-2454 **かながわ森林インストラクターの会宛**まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。(頒 価 200円 送料共)

- 編集人: 松本 保
事務局: 竹島 明
広報部: 小沢章男 水口俊則
鈴木 朗 徳岡達郎 大塚晴子
加藤愛子 赤崎さほり 小川和恵
小池 哉
支援 伊藤恭造 川森健司 菌田栄哉



お問い合わせ先: 松田町役場 観光経済課 TEL 0465-83-1228
(松田町観光協会のホームページより) <http://www.1a.biglobe.ne.jp/matsuda-kanko/>